

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー									
	1	2	3	4						
	●			●						
実務経験のある教員等による授業科目										☐
科目名	哲学				担当講師	宮内寿子				
分 野	基礎		授業方法	講義	実務経験					
単位数	1 単位		時 間	15 時間	学 年	2年次	学 期	前期		
概 要	哲学は、世界や人生の究極の根本原理を客観的・理性的に追及する学問であり、一番の特徴は、とことんまで考え抜くという点にあると言える。従って、哲学は私たちが普段の生活において問題とすることのないことを考察することになる。 自然や人間社会の現象に直ちに向かうよりも、人間とのかかわりあいの探求に向かう、自分自身の経験などから作り上げた人生観・世界観、物事に対する基本的な考え方を追求していくことである。									
到達目標	1. 哲学とはなにか述べられる 2. 哲学の思考方法を体験することができる 3. 多角的な思考ができる 4. 自分の見解をまとめ、他者に伝えることができる									

回	主題	内 容	学習方法
1	哲学とは何か	哲学を学ぶ意義	講 義
2	生きる意味ってなんだろう（１）	生きる意味を事例から考える	講義・演習
3	生きる意味ってなんだろう（２）	生きる意味を事例から考える	講義・演習
4	言葉ってなんだろう（１）	言葉の意味を考える	講義・演習
5	言葉ってなんだろう（２）	言葉の意味を考える	講義・演習
6	時間ってなんだろう	時間の意味を考える	講義・演習
7	愛ってなんだろう	様々な愛の意味を考える	講義・演習
8	まとめ・終講試験/解答・解説		講 義

評価方法	客観試験
教科書	池田昌子「14歳からの哲学」 トランスビュー
参考書	
備 考	事例を用いて各主題を考え、グループワークやディベートを実施する。各自の考え方を否定せず、様々な考え方や思いを受け入れ学習を進める。

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー							
	1	2	3	4				
	●			●				
					実務経験のある教員等による授業科目			☐
科目名	教育学				担当講師	渡邊洋子		
分 野	基礎	授業方法	講義	実務経験				
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2 年次	学 期	前期	
概 要	人間の生成過程の影響因子には、自然環境や文化環境、人間環境がある。その環境に適応していく営みが学習である。学習の質が人間の判断や行動に与える影響は大きい。看護学では、人間の受胎から死までの全生涯にわたる各期を発達する存在ととらえ、生涯にわたる健康教育や保健指導が行われている。本科目では、教育が目指す人間育成のための基礎知識を看護援助における教育に活かす足がかりにしたい。							
到達目標	1. 人間の成長に教育がどのように作用して人間形成されるのか、教育の意義を理解する。 2. 学習と生活の結びつきについて理解し、看護援助における教育の特質を理解する。 3. 社会の発展が教育の状況をどのように変化させ、人間の発達に影響を与えているか考える。 4. 生涯各期の自主的な学習の特質を理解する。 5. 教育の目的・目標・評価を理解する。							

回	主 題	内 容	学習方法
1	教育の意義	教育とは何か 教育の機能	講 義
2	家庭教育 発達と教育	家庭と教育 子どもの成長発達と教育	講 義
3	生涯学習支援の社会教育	生涯教育・生涯学習社会・社会教育	講 義
4	教育の目的 教育の方法・技法	教育目的の考え方 対象理解・教育相談	講義・演習
5	教育評価	教育評価の意義と目的・方法・到達度評価・自己評価	講義・演習
6	現代教育の諸問題 特別支援教育	現代教育の諸問題 障害児への教育・支援	講 義
7	看護と教育	看護基礎教育・卒後教育 患者教育 健康教育	講義・演習
8	まとめ・終講試験/解答・解説		講 義

評価方法	客観試験
教科書	看護学生のための教育学 ―自己の再発見のために― 金芳堂
参考書	
備 考	

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー				実務経験のある教員等による授業科目				☐
	1	2	3	4					
	●		●						
科目名	文化人類学				担当講師	茅根美保			
分 野	基礎		授業方法	講義	実務経験				
単位数	1 単位		時 間	15 時間	学 年	2 年次		学 期	前期
概 要	看護師として対象の「その人らしさ」を捉える時、その人らしさの背景にある文化の違いに気づき、「その人らしさ」を支える看護が提供できるよう「文化」の多様性と普遍性を学べる内容とする。さらに、日常や人生において変化が生じる時、人はどのように変化をとらえ、理解し、さらに自らの考え方や行動を変化させるべきかについて考えるきっかけとなるよう講義の中で事例を取り入れ、自らの考えを深めていく。								
到達目標	1. 「文化」とは何か、「異文化」とは何か理解する。 2. 個人を取り巻く社会関係を理解する。 3. 人は人生をどのように生きているか、またそのことが社会の再生産にどのように関わっているかを理解する。 4. 日常生活における宗教の役割を理解する。 5. 人間は健康や病気をどのようにとらえ対処してきたかについて理解する。 6. さまざまな文化における「死」を理解する。								

回	主題	内容	学習方法
1	人間と文化	「文化」の概念 「文化」の多様性と普遍性	講 義
2	人と人とのつながり	社会の中の個人	講 義
3	人生と時間	人間理解のあり方	講義・演習
4	信仰と世界観	宗教と出産・病気・治療	講 義
5	身体・病気・治療（1）	文化と身体観・病気観	講 義
6	身体・病気・治療（2）	文化と病気治療・医療人類学	講 義
7	人間と死	「死の文化」	講義・演習
8	まとめ・終講試験/解答・解説		講 義

評価方法	客観試験
教科書	新版 文化人類学のレッスン フィールドからの出発 学陽書房
参考書	
備 考	講義内では、事例を通し、様々な人々の文化の違いとその人らしさについて考えグループワークや意見交換を行い主体的に自己の考えを深めていきましょう。

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー							
	1	2	3	4				
	●		●		実務経験のある教員等による授業科目			
					☐			
科目名	社会学				担当講師	小笠原尚宏		
分 野	基礎	授業方法	講義	実務経験				
単位数	1 単位	時 間	15 時間	学 年	2 年次	学 期	後期	
概 要	社会とは、人と人との様々なつながりや結びつきからなるものである。社会学は社会の中で起こる様々な事象の成り立ちやあり方に関する学問である。看護は、社会のなかで生活する人々を対象として行われる関わりである。従って、社会がどのような成り立ちや特性をもっているのか、社会の中で生活する人の健康や健康障害を引き起こす現象とは何かを考える科目としたい。							
到達目標	1. 人間行動の特性とはどのようなものか、社会を構成する社会関係、集団・組織・地位・役割に関する社会的行為について理解する。 2. 他者・集団との社会的関係が健康状態に必要な影響を及ぼすことを理解する。 3. 仕事や職場のどのような特徴が健康に影響を与えるのか理解する。							

回	主題	内容	学習方法
1	社会学とは何か	社会学とは A・コントと近代化 社会静学と動学	講 義
2	役割と葛藤/第一次社会化	社会的自我 地位—役割 家族と社会化	講 義
3	第二次社会化（感情労働）	第二次社会化(感情労働)/感情管理と感情労働	講 義
4	非組織集団と社会集団	非組織集団 社会集団	講 義
5	情報化・ネット社会/職場・社会全体	情報化・ネット社会/職場・社会全体	講 義
6	性・ジェンダー/健康行動と病気行動	性・ジェンダー/健康行動と病気行動	講 義
7	現代社会における課題と展望	現代社会における課題と展望	講 義
8	まとめ・終講試験/解答・解説		講 義

評価方法	客観試験
教科書	大学生のための社会学入門 晃洋書房
参考書	
備 考	

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回	主 題	内 容	学習方法
1	家族とは	基本概念・類型・家族の変貌	講 義
2	夫と妻のパートナーシップ	夫婦関係	講 義
3	親と子と孫の絆	親子関係論	講 義
4	家族と社会	生活文化・地域・職場	講 義
5	患者家族と在宅ケア	患者家族と在宅ケア	講 義
6	家族支援のアプローチ	家族システム論・家族発達段階論	講 義
7	家族支援のアプローチ	家族への心理教育的方法・心理援助の方法	講 義
8	まとめ・終講試験/解答・解説		講 義

評価方法	客観試験
教科書	系統看護学講座 別巻「家族看護学」 医学書院
参考書	
備 考	

2025年度 講義要項（授業計画）

学修成果	ディプロマポリシー					実務経験のある教員等による授業科目			☐		
	1	2	3	4							
	●	●									
科目名	健康とスポーツⅡ				担当講師	酒井聖子					
分 野	基礎		授業方法	実技		実務経験					
単位数	1 単位		時 間	15 時間		学 年	2年次		学 期	前期	
概 要	看護師は、健康生活を援助する者として、対象の健康を考えるために、自分自身が健康的な心と身体を有していることが基本となる。そこで、運動と健康の関連を理解し身体を動かすことで、心身の育成を促す。また、援助する者として、高齢者や障害をもつ人の健康と生き生きした生活を支援するための運動や福祉レクリエーションについて、実践を通して学ぶ。										
到達目標	1. 運動と健康の関連を理解し、身体を動かすことで心身の育成を促す。 2. 福祉レクリエーションの実践を通して、アクティビティ・ケアについて学ぶ。										

回	主 題 ・ 内 容	学習方法
1	高齢者と運動	講 義
2	福祉レクリエーションの基礎①	講 義
3	福祉レクリエーションの基礎②	講 義
4	福祉レクリエーションの実践①	実 技
5	福祉レクリエーションの実践②	実 技
6	福祉レクリエーションの実践③	実 技
7	福祉レクリエーションの実践④	実 技
8	まとめ・終講試験/解答・解説	講 義

評価方法	積極性、実技試験、客観試験等を加味し、総合的に評価する。
教科書	講義の中で提示する
参考書	
備 考	